２００６年度　三重県高校サッカー新人大会

日　時	2007,2,10(Sat) 13:00	形式	70分（延長20分：PK）	会場名	三重県営総合行儀上		
天　候	曇り	気　温	℃	湿　度	%	風		ピッチ状態	観衆数
Match-Commissioner		A-Ref1	和田	4th-Re	上田	芝	良	人
Referee	大森	A-Ref2	若宮	Record	鈴鹿高校	表	乾燥	

鈴　鹿	0	0	1sut	1	4	三　重
		0	2nd	3		
			EX1th			
			ex2nd			
Kick off			ＰＫ			Kick off

Change		Shoot				Tot	PLAYER	No.	Posi		No.	PLAYER	Tot	Shoot				Change	
Tim	Name	EX2	EX1	2nd	1th									1th	2nd	EX1	EX2	Name	Tim
						0	森田　卓馬	31	GK	GK	1	福森　崇祐	0						
						0	杉本　真祐	5	DF	DF	2	松井　大輝	0						
65	⑬伊藤					0	宮田浩一郎	18	DF	DF	3	竹中　章浩	0						
						0	道野　卓弥	16	DF	DF	18	王本　直輝	0						
						0	服部　泰士	3	DF	DF	4	村瀬　敏晃	0						
				1	1	2	田中　大裕	14	MF	MF	17	平野　貴士	2		2				
35	⑳田口				2	2	上園　　巧	15	MF	MF	8	城野　太志	1	1					
						0	林　　雅之	10	MF	MF	5	安尾　俊祐	1	1				⑥上土	35
				2	2	4	鈴木　　聖	8	MF	MF	10	小林　知弘	2	1	1				
				1	1	2	上村　健太	9	FW	FW	11	脇　　睦	3	1	2			⑦川崎谷	65
				1		1	松岡　亮太	11	FW	FW	9	木野田和也	0					⑬川端	47
						0	舘　　峰弥	21	GK	GK	12	浜田　翔平	0						
						0	田畑　孝明	4	MF	DF	6	土上　翔太	0						
						0	山本　将大	2	DF	MF	15	川崎　健多	0						
						0	伊藤　大輝	13	DF	MF	7	川崎谷　輝	1		1				
						0	入江　　純	24	DF	FW	16	新竹　一輝	0						
						0	市岡　　嶺	19	MF	FW	13	川端　一徹	0						
						0	田口　　尚	20	MF				0						
						0	桜井　文弥	17	FW				0						
						0	江藤　直樹	7	FW				0						

警告・退場					監　督	監　督												
Tim	R/Y	No.	Name	Reason	鏡　康孝	伊室　英輝								Tim	R/Y	No.	Name	Reason
					EX2	EX1	2nd	1th	Team-Total		1st	2nd	EX1	Ex2	49	Y	⑬	川端　一徹	反スポ
					0	0	5	6	11	Shoot	10	4	6	0	0				
							6	2	8	ＧＫ	6	4	2						
							1	1	2	ＣＫ	2	2	0						
							7	6	13	直接FC	7	5	2						
							1	0	1	間接FC	1	1	0						
							1	0	1	ｵﾌｻｲﾄﾞ	1	1	0						
							0	0	0	ＰＫ	1	0	1						

Tim	得点ﾁｰﾑ	No.	得点者	スコア	得点経過　記録例：～ﾄﾞﾘﾌﾞﾙ →パス ↑浮き球 ×混戦　Sｼｭｰﾄ　Hﾍﾃﾞｨﾝｸﾞ									
35	三重		Own-Gool	１－０										
60	三重	⑪	脇　　睦	２－０	⑪脇	×	SG							
62	三重	⑪	脇　　睦	３－０	⑪脇	SG								
67	三重	⑦	川崎谷　輝	４－０	⑦川崎谷	PK	SG							

【戦評】記入者：　［　北川　昌紀　］　所属：　［　県立白子高等学校　］

両チームのシステムは４－４－２．三重は立ち上がりから左サイドを突破し、チャンスを作る。その後も⑩を中心に左サイドからゴールチャンスを作り出す。鈴鹿は中盤で奪ったボールに対し２トップが素早く反応し、ＤＦラインの裏を狙う。守備ではバランスをやや欠くもののゴール前で体を張り必死に守る。後半三重は⑰を中心にビルドアップしゴール前まで行くものの、鈴鹿もＧＫを中心に粘り強く守る。鈴鹿はボールを奪っても効果的に攻めることが出来ず、チャンスはセットプレーに頼るしかない。終始優位に試合を運んだ三重が決勝に進んだが、ビルドアップの質が今後の課題である。

転記責任者：藤田一豊